

# TOFFY 電気ケトル

## 品番：K-KT1

家庭用



### もくじ

安全上のご注意.....	2
各部の名称 .....	4
使用前の準備 .....	5
つかいかた .....	5
お手入れと保管.....	6
故障かな？と思ったら.....	7
製品仕様 .....	8
保証書 .....	8

### ユーザーズガイド

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
ございます。

本製品をお使いになる前に必ず本書をお読みいただき、正しく  
お使いください。

本書は読み終わったあと、大切に保管してください。

LADONNA

# 安全上のご注意 必ずお読みください

## ●必ずお守りください（安全にお使いいただくために）

本書では、お使いになる方や人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。

**⚠警告** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。

**⚠注意** この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

## ●次の絵文字で、お守りいただきたい内容を説明しています。

⊘ ⊘ 表示は、してはいけない「禁止」内容です。

❗ ❗ 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

## ⚠警告

⊘ 本体を水につけたり、水をかけたりしてぬらさないでください。

ショート・感電の原因となります。

⊘ ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

⊘ 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、重いものを乗せたり、はさみ込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。

⊘ 電源コードや電源プラグが傷んでいるとき、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。

感電・ショート・火災の原因となります。

⊘ 分解・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。

⊘ 本体や給電スタンドにピンや針金などの金属物など、異物を入れないでください。

異常動作してけが・感電・故障の原因となります。

⊘ 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使用しないでください。

感電・けが・やけどの原因となります。

⊘ お湯を沸かす以外の目的に使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

⊘ カーテンなどの可燃物の近くで使用しないでください。

火災の原因となります。

⊘ 本体を直接火にかけたり、電磁調理器の上ののせたりしないでください。

火災の原因となります。

⊘ 付属の専用給電スタンド以外は使用しないでください。

火災の原因となります。

❗ 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。

他の器具と併用するとコンセントが異常発熱して発火することがあります。

❗ 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

感電・ショート・発火の原因となります。

❗ 電源プラグにホコリが付着している場合は拭き取ってください。

ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因となります。

❗ 異常時（こげ臭い、発煙など）は電源プラグを抜き、使用をしないでください。

火災・感電の原因となります。

## ⚠️ 注意

⊘ 本製品は一般家庭用です。業務用として使用しないでください。  
火災・故障の原因となります。

⊘ 使用中は本体から離れないでください。  
火災の原因となります。

⊘ 不安定な場所や熱に弱い敷物の上で使用しないでください。  
けがや火災の原因となります。

⊘ 壁や家具の近くで使用しないでください。  
蒸気や熱で壁や家具が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

⊘ 空だきしないでください。  
故障の原因となります。

⊘ 本体を使用中に移動させないでください。  
やけど・けがの原因となります。

⊘ 本体にふきんなどがぶせないでください。  
ふきこぼれ・やけどの原因となります。

⊘ 熱源・火気の近くで使用しないでください。  
火災・故障の原因となります。

⊘ 沸騰直後は、すぐにお湯を注がないでください。  
湯が飛び散り、やけどの原因となります。

⊘ 沸騰直後は、すぐにフタを開けないでください。  
ふきこぼれ・やけどの原因となります。

⊘ フタを開けたときに出る蒸気に触れないでください。  
やけどの原因となります。

⊘ 使用中や使用後しばらくは、本体に触れないでください。  
やけどの原因となります。

⊘ 氷を入れて保冷用に使用しないでください。  
結露が発生し、感電・故障の原因となります。

⊘ 本体を転倒させないでください。  
やけど・けがの原因となります。

⊘ 水以外のもの(お茶やコーヒー、スープ、レトルト食品、瓶や皿など)を入れないでください。  
焦げつき・腐食・故障の原因となります。

⊘ 満水表示「MAX」以上に水を入れないでください。  
ふきこぼれ・やけどの原因となります。

❗ お湯を沸かすときは必ずフタを取り付けてください。  
湯が飛び散り、やけどの原因となります。

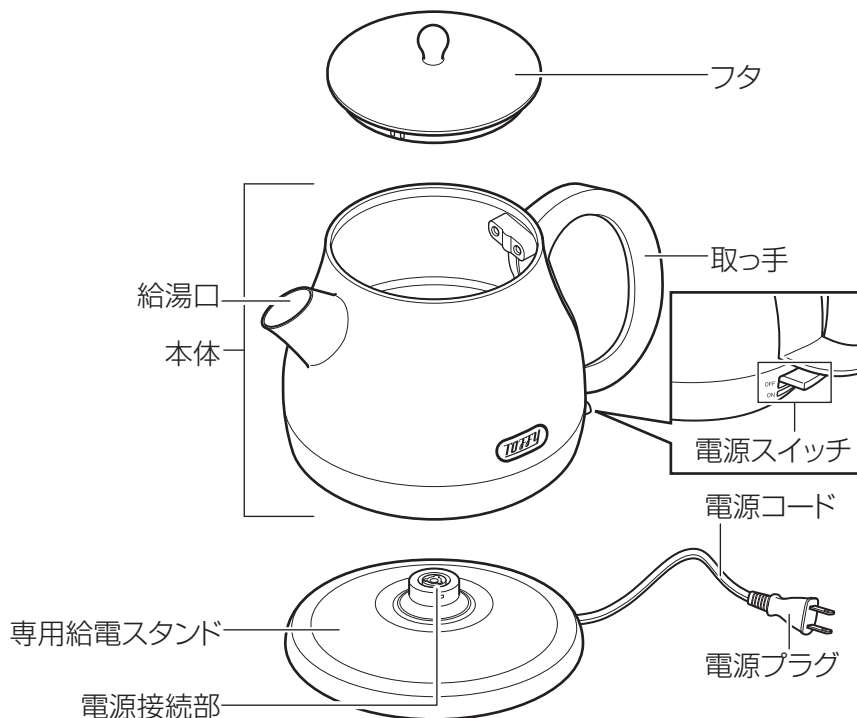
❗ 持ち運びやお手入れ、保管をするときは、本体が冷めてから行なってください。  
火災ややけどの原因となります。

❗ 電源プラグを抜くときは必ず電源プラグを持って引き抜いてください。  
感電やショートの原因となります。

❗ 本体を持ち運ぶときは、フタを押さえてください。  
フタが開き、事故の原因となります。

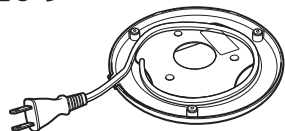
# 各部の名称

- 本製品は、本体と給電スタンドのセパレート式になっています。
- 電源スイッチを入れないと作動しません。また、本体を給電スタンドからはずすと、電源スイッチは自動的に切れます。
- 空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。

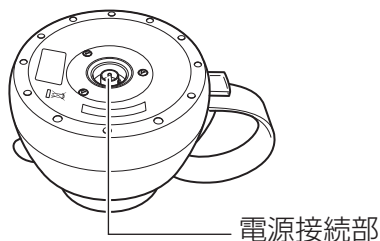


## 専用給電スタンド《裏側》

(電源コードが巻かれた状態)  
使用しないときは電源コードをスタンド裏側に巻き付けておくことができます



## 本体《裏側》



# 使用前の準備

## 1. 本体内とフタを洗ってください。

**△注意** 本体は水につけることができません。本体は直接洗うことはしないでください。  
感電・ショート・やけど・火災の原因になります。

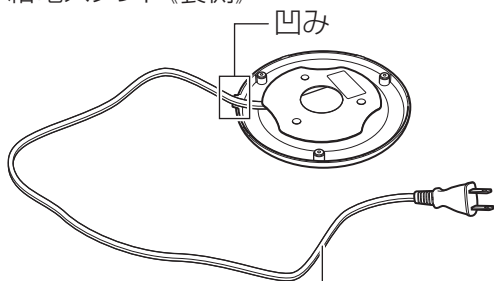
## 2. はじめてお使いの際は、「つかいかた」にしがいお湯をわかし、お湯を捨ててからご使用ください。

- ・ 長期間使わなかった場合も同様のお手入れをしてください。

## 3. 給電スタンドを水平で安定した、熱に強い場所に設置してください。

- ・ 燃えやすいもの、高温・湿度に弱いものから離して設置してください。
- ・ 給電スタンドの凹みから電源コードを出してください。

## 給電スタンド《裏側》



電源コードはすべて引き出す

**△注意**

- ・ 電源コードはすべて引き出してください。  
電源コードを巻き付けたまま使用すると、巻き付けた部分が熱を持ち、火災の原因になります。
- ・ コードの上に給電スタンドをのせないでください。  
コードが傷つき、感電・火災の原因になります。

# つかいかた

## つかいかた

## 1. 本体に水を入れて、フタをしてください。

水面が右図の本体内部の取っ手側にある満水表示《MAX》を超えないように水を入れてください。

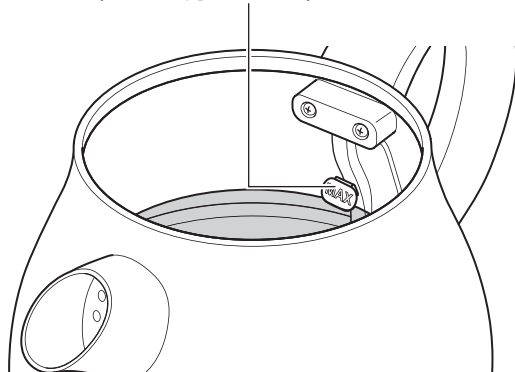
**△注意**

- ・ 本体の電源接続部のまわりに水滴が付いたときは、ふきんなどで必ずふき取っておいてください。
- ・ 給電スタンドにのせて水を入れないでください。  
電気部品に水が入り、感電・故障の原因になります。

## 2. 給電スタンドの電源プラグをコンセントに取り付けてください。

「使用前の準備」に従い電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに取り付けてください。

満水位置  
(MAX:約800ml)

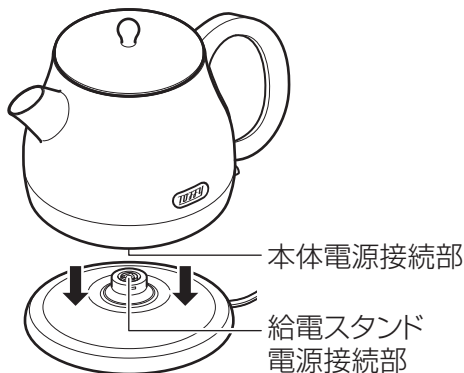


## つかいかた

### 3. 給電スタンドの上に本体をのせてください。

本体と給電スタンドの電源接続部が合うようにのせてください。

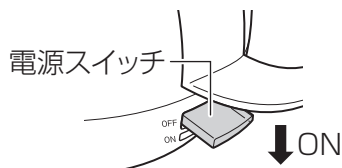
※本体と給電スタンドの電源接続部にゴミやほこりが付着していないか確認してください。



### 4. 電源スイッチを下げて「ON」にしてください。

電源が入り、煮沸が始まります。

途中でOFFにするときは、電源スイッチを手動で上げて「OFF」状態にしてください。



⚠注意 空だきはしないでください。  
故障の原因になります。

### 5. 沸騰すると電源スイッチは自動的にOFFになります。

### 6. 給電スタンドから本体をはずし、お湯を注いでください。

- 沸騰状態がおさまってからお湯を注いでください。
- 沸騰したお湯は早めにご使用ください。
- 本製品には保温機能はありません。
- お湯は本体内に残さないでください。

### 7. ご使用後は電源プラグをコンセントから抜いてください。

- ⚠注意
- 沸騰して電源が切れた直後にフタを開けないでください。
  - 注ぐときには勢いよく傾けないでください。  
お湯がこぼれてやけどの原因になります。
  - 沸騰して注ぐときは取っ手以外の部分に触れないようにしてください。
  - 給湯口やフタをはずして出てくる蒸気に注意してください。
  - 電源スイッチが切れた直後は本体が熱くなっています。ご注意ください。  
やけどの原因になります。

## お手入れと保管

- ⚠警告
- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・ショート・やけど・火災の原因になります。
  - 十分に本体の温度が下がるのをお待ちください。  
やけどの原因になります。
  - 本製品のお手入れに住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使用しないでください。
  - お手入れをするのに、直接本体外側には水をかけたり、水に沈めたりしないでください。  
故障の原因になります。

## 内側

1. 食器用洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、やわらかいスポンジなどを使って洗ってください。
2. 水ですすいだ後、十分に乾燥させてください。

## 外側

1. 食器用洗剤をうすめた水またはぬるま湯に布をひたし、かたくしぼって拭いてください。

## 2. 乾いた布で十分に拭き取ってください。

ケトル内側に付着した汚れ(白い浮遊物、白い斑点、赤さび状の斑点など)は水に本来含まれるミネラル成分の作用によるものです。市販のカルキ除去剤または食品用クエン酸を使って洗浄してください(使用方法については、各説明書に従ってください)。きれいにしたあとは、水でゆすいでください。

## 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらときは、修理の依頼をされる前に、下記のことをお調べください。

こんなとき	原因	対処
電源が入らない	電源プラグは正しくコンセントに取り付けられていますか?	• 電源プラグとコンセントの接続を確認してください。
	本体・給電スタンドの電源接続部にホコリや金属片などのゴミがありませんか?	• ゴミを取り除いてください。
電源がすぐに切れる	水は入っていますか?	• 安全装置により、水が入っていないと電源が切れるようになっていきます。水を入れて再度電源を入れてください。
ふきこぼれる	満水表示《MAX》を超えて水を入れていませんか?	• 水面が満水表示《MAX》より下になるように、水を少なくしてください。
	傾けて設置していませんか?	• 水平なところに設置してください。

## 長期間ご使用の電気ケトルは定期的な点検をお願いします

- 電源コードが異常に熱い。
- 電源コードに深い傷などがある。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- ヒーターが割れている。
- そのほか異常や故障がある。



このような症状が出た、発見したときには、すぐに使用を中止してください。

## お客様ご相談窓口 0570-024-389

※IP電話など一部の電話からのご利用はできません。  
受付時間 10:00~18:00(土・日・祝日を除く)

商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご購入されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

### 個人情報のお取り扱いについて

株式会社ラドンナおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には品名・品番をご連絡ください。

# 製品仕様

品名	Toffy 電気ケトル
品番	K-KT1
電源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	900W
電源コード長	約0.7m
定格容量	約800ml
本体寸法	約245(W)×165(H)×165(D)mm ※給電スタンド含まず
重量	約625g ※給電スタンド含まず
生産国	中国
付属品	ユーザーズガイド(保証書含む)

※商品改良のため、本製品の仕様やデザインは予告なく変更されることがあります。

※この商品は日本国内専用で、外国では使用できません。

(This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)